

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

福岡県

学校名

那珂川市立岩戸北小学校

人権課題

子供

対象学年・
取り扱った教科等

小学校全学年
特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動

目標・人権教育のねらい

- ・ インターネット上での子供の人権課題に関する悪質な行為や差別、誤った情報や偏った情報をめぐり問題について理解する。
- ・ 情報の収集・発信における個人の責任について理解する。
- ・ 情報モラルの向上カリキュラム作成し、体系的に指導する。

実施した内容

- ・ 子供のインターネットに関する知識や意識、及び教職員の人権意識に関する調査をし、本校における課題を明確にする。
- ・ 効果的な指導法を研究・実践し、それらを位置づけたカリキュラムを作成する。
- ・ 教職員の人権感覚や意識を高める研修を実施する。

工夫した点

- ・ 情報モラルについて考える際、役割演技や操作活動を取り入れ、子供たちが「自分事」として考えることができるようにした。
- ・ 情報モラルに関する指導のカリキュラム作成の際、「情報モラルについての理解」「情報活用能力」「情報モラルに関する態度」という三つの観点を示し、授業実践の事例収集を行った。

他教科との
関連

社会科における情報や人権、国民の権利に関する内容と関連させた。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

福岡県

学校名

那珂川市立岩戸北小学校

人権課題

同和問題

対象学年・
取り扱った教科等

小学校全学年
特別活動・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・インターネット上での同和問題に関する悪質な行為や差別、誤った情報や偏った情報をめぐる問題について理解する。
- ・情報モラルの向上カリキュラムを作成する際、同和問題も含めた人権課題について体系的に指導する。

実施した内容

- ・子供の同和問題に関する知識や意識、及び教職員の意識に関する調査をし、本校における課題を明確にする。
- ・効果的な指導法を研究・実践し、それらを位置づけたカリキュラムを作成する。
- ・教職員の人権感覚や意識を高める研修を実施する。

工夫した点

- ・情報モラルについて考える際、同和問題に関する内容を取り入れ、発達段階に応じて子供たちが考えることができるようにした。
- ・情報モラルに関する指導のカリキュラム作成の際、「情報モラルについての理解」「情報活用能力」「情報モラルに関する態度」という三つの観点を示し、「情報モラルについての理解」の中に同和問題に関する内容を設定し、授業実践の事例収集を行った。

他教科との
関連

社会科における情報社会や基本的人権、歴史学習と関連させた。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

福岡県

学校名

那珂川市立岩戸北小学校

人権課題

外国人

対象学年・
取り扱った教科等小学校全学年
特別活動・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・インターネット上での同和問題に関する悪質な行為や差別、誤った情報や偏った情報をめぐる問題について理解する。
- ・情報モラルの向上カリキュラムを作成する際、外国人に関する人権問題も含めた人権課題について体系的に指導する。

実施した内容

- ・子供の外国人との交流についての知識や意識、及び教職員の意識に関する調査をし、本校における課題を明確にする。
- ・効果的な指導法を研究・実践し、それらを位置づけたカリキュラムを作成する。
- ・教職員の現代社会の外国人に関する人権感覚や意識を高める研修を実施する。

工夫した点

- ・オリンピック（夏季及び冬季）を題材とし、外国人に関する人権課題に関する内容を取り入れ、発達段階に応じて子供たちが考えることができるようにした。
- ・情報モラルに関する指導のカリキュラム作成の際、「情報モラルについての理解」「情報活用能力」「情報モラルに関する態度」という三つの観点を示し、「情報モラルについての理解」の中に外国人に関する人権課題に関する内容を設定した。

他教科との
関連

社会科における情報社会や基本的人権、諸外国の文化と交流に関する内容と関連させた。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

福岡県

学校名

那珂川市立岩戸北小学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等

小学校全学年
特別の教科 道徳・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・インターネット上での悪質な行為や差別、誤った情報や偏った情報をめぐる問題について理解する。
- ・情報の収集・発信における個人の責任についての理解する。
- ・情報モラルの向上カリキュラムを作成し、体系的に指導する。

実施した内容

- ・子供のインターネットに関する知識や意識、及び教職員の人権意識に関する調査をし、本校における課題を明確にする。
- ・効果的な指導法を研究・実践し、それらを位置づけたカリキュラムを作成する。
- ・教職員の人権感覚や意識を高める研修を実施する。

工夫した点

- ・情報モラルについて考える際、役割演技や操作活動を取り入れ、子供たちが「自分事」として考えることができるようにした。
- ・情報モラルに関する指導のカリキュラム作成の際、「情報モラルについての理解」「情報活用能力」「情報モラルに関する態度」という三つの観点を示し、授業実践の事例収集を行った。

他教科との
関連

社会科における情報社会や基本的人権に関する内容と関連させた。